

まちづくり市民フォーラム結果報告

1. 目 的

「市民力」をテーマに、参加者に「市民力」によるまちづくりの必要性・重要性を認識してもらうとともに、話し合いを通じて市民力を発揮していくため、どのようなことが必要かを洗い出し、今後の審議会の議論への反映を目指すことを目的に開催した。

2. 実施概要

- (1) 開催日時 平成 22 年 10 月 10 日 13:30 ~ 16:30
- (2) 主 催 仙台市総合計画審議会
- (3) 開催場所 せんだいメディアテーク オープンスクエア
- (4) プログラム内容

仙台市基本構想・基本計画（中間案）の概要説明

まちづくり事例発表

発表者：菅原康雄 氏（福住町町内会長）

齋藤光巧 氏（特定非営利活動法人 仙台城ガイドボランティア会 理事長）

増子良一 氏（イートス株式会社 代表取締役）

落合祐弥 氏（イートス株式会社 営業部）

まち歩きフィールド Cafe 結果報告

報告者：松さゆり 氏（参加者）

テーブルトーク

パネルディスカッション

コーディネーター：宮原委員

パネリスト：大草委員、大滝委員、小野田委員、間庭委員

- (5) 参加者数 87 人

3. テーブルトーク・パネルディスカッションの概要

テーブルトークでは、審議会委員・事例発表者と参加者（7 ~ 8 人）がテーブル（9）を囲んで次のテーマで話し合った。

気づきや感想：まちづくり事例発表、まち歩きフィールド Cafe 結果報告を聞いて気づいたり
感じたこと

あったらいい取り組み：もっとこんな「問題の解決」や「魅力の創出」があったらいいなと考
えるもの

実践者が増えるために：実践する人が増えるために：取り組もうとする人・組織が増えるため
には、どんなことがあればいいか考えるもの

テーブルトークで出された主な意見の次のとおり。

（パネルディスカッションで紹介されたもの）

- ・何かしたい気持ちはみんなもっているが、どのようにつながったらいいのかが分からない。
- ・新たに地域に入る人（学生、転勤者、退職者など）は地域組織とどうつながりをもつかが難しい。一方、地域組織として高齢化が進んでいるところもあり新しい人とのつながりを課題に思っている。
- ・地域組織や N P O などへの正式な参加でない、少し緩やかな参加の場があるなど、多様な参加のあり方があるとよい。
- ・地域に愛着をもつ取組が必要。地域みんなで行うお祭りや地域学習など。

- ・市民力を高めるためにはコストと時間をかける必要がある。情報提供や活動拠点などインフラ整備も必要。
- ・企業の社会貢献活動を促進する仕組みが必要。
- ・退職者が企業で培ったノウハウを生かす仕組みづくりが必要。
- ・市民力を高めるためには、行政側も対応力が必要。フレキシブルな組織や、事業決定などが分かりやすく、自然な形で見せる必要がある。

4. アンケート結果概要

(1) 回答者数 54人(回答率: 62.1%)

(2) 回答者の属性

性別

項目	合計
男性	32人
女性	21人
無回答	1人
合計	54人

年齢

項目	割合
19歳以下	3人
20-29歳	18人
30-39歳	5人
40-49歳	4人
50-59歳	9人
60-69歳	9人
70歳以上	6人
合計	54人

職業

項目	割合
会社・団体等役員	8人
会社・団体等従業員	9人
自営業者	3人
パート、アルバイト	0人
専業主婦	0人
学生	20人
無職	13人
その他	1人
合計	54人

住所

項目	割合
青葉区	10人
宮城野区	8人
若林区	4人
太白区	8人
泉区	19人
市外	4人
無回答	1人
合計	54人

仙台在住年数

項目	割合
1年未満	0人
1年以上5年未満	7人
5年以上10年未満	4人
10年以上	23人
生まれてからずっと	14人
無回答	6人
合計	54人

きっかけ(複数回答可)

項目	割合
市政だより	11人
ちらし	9人
市ホームページ	7人
新聞広告	2人
その他	27人
無回答	2人
合計	58人

その他: 大学、知り合い、市職員からの紹介等

(3) 自由記述回答の状況

今回のフォーラムについて、中間案の説明が少ないことや時間が短いことを指摘する意見もあったが、参加して良かった、自分も何かをする気持ちが高まった、継続して実施してほしいなどの意見を多くいただいた。

その他の主な意見は次のとおり。

- ・簡単に紙1枚のレベルで誰にでも分かりやすく情報を伝える工夫が必要。情報ツールも紙、ネット、口コミなどそれぞれの市民にあったものが必要。
- ・行政の縦割りを改革していかないと市民力は高められない。
- ・人対人の直接的なコミュニケーションをはぐくんでいかないといけない。
- ・策定プロセスへの市民参画のあり方を明確化していくことが重要。
- ・市民が気軽に集える場所は、公共施設だけでなく企業やNPOも提供できると思う。
- ・ひとつ何かするとき新たなイベントを考えることが私達を忙しくしバラバラな活動を生み続けてきた。ゆったりとした時間を私達のものとする計画立案を。